

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ～学びの質を高める授業改善と組織的な検証改善サイクルの実現～ 幕別町立幕別中学校 学級数6 (校長 喜多 敦)

I はじめに

「主体的・対話的で深い学び」は、生徒に必要な資質・能力を育むための学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していくための視点である。

本校では、「幕別中学校教育グランドデザイン」に示された生徒に身に付ける資質・能力の育成に向けた教育課程を編成するとともに、「PDCAサイクルを活用した学校改善プラン」をもとに学びの質を高める授業改善へ組織的に取り組んでいる。

また、「幕別町小中一貫教育」により、9年間の学びを見通した教育課程の編成を隣接する小学校と本校の教員が一体となって取り組んでいる。

II 実践の概要

1 年間シラバス、単元シラバスの作成と活用

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が分かる、年間および単元シラバスを作成し、授業で活用している。

2 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり

校内研究を通して「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを目指している。本校では、NITSによる「実現したい子どもの姿(ピクトグラム)」を授業で身に付ける資質・能力として参考にし、学習指導案に位置付けている。

3 生徒による授業アンケートの実施

生徒による授業評価を教科ごとに年2回行っている。アンケート結果を各教科で分析するとともに、校内研究で検証・改善を図り、授業改善につなげている。



4 小中一貫教育(まくべつ学園)の取組

(1) まくべつ学園小中一貫カリキュラム

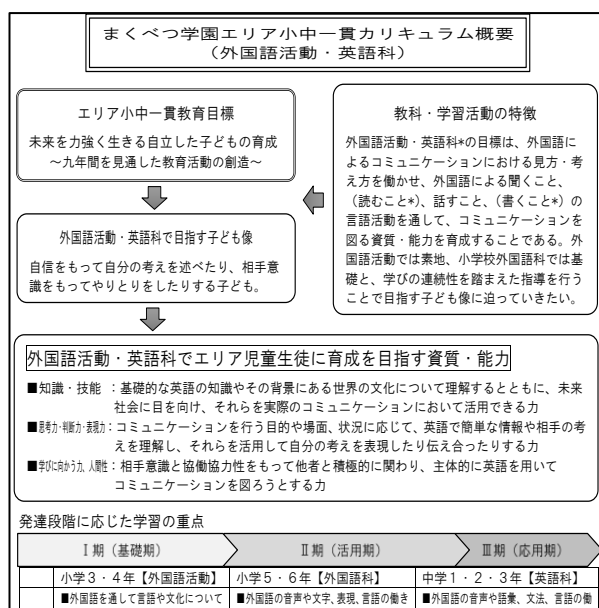
9年間で身に付けさせる資質・能力を明確にしたカリキュラム表を各教科で作成し、指導に生かしている。

(2) 乗り入れ授業の実施

小学校において、算数70時間、外国語70時間、体育70時間、音楽35時間乗り入れ授業を実施し、中1ギャップの解消や学力向上に向け、9年間の学びを育む指導を行っている。

	学習内容(口活動内容 ◆学習課題)	☆研究とのかかわり など
導入	◆学習課題 調べた和歌について、現代人の価値観とどのような共通点や相違点を見いだす	
展開	口調べた和歌について、現代人の価値観とどのような共通点や相違点があるか、まとめる。 ①個人 → ②グループ	☆思考ツール(バタフライマップ)の利用 【思考を表現に置き換える】 
	口調べた和歌について、現代人の価値観とどのような共通点や相違点があるか、意見交換をする。 ②グループA → ③グループB	☆ジグソー法 【互いの考えを比較する】 

【「実現したい子どもの姿」を示した学習指導案】



【まくべつ学園小中一貫カリキュラム】

III 実践の成果(○)と課題(●)

- 年間シラバスや単元シラバスを活用して生徒に見通しをもたせたり、主体的・対話的で深い学びの授業づくりを推進したりしたことにより、全国学力・学習状況調査や授業アンケートで「授業がよくわかる」と答えた生徒が各教科ともに9割近くになったことに加え、全国学力・学習状況調査の平均正答率が前年度より上昇し、全国平均を上回った。
- 小学校との連携をさらに深め、9年間で目指す子どもの姿の実現に向けて、授業改善の視点を共有するとともに、成果と課題を教育課程の工夫改善に生かしていく必要がある。